

通 報 承 認 申 請 書

① 年 月 日			
東京消防庁 消防署長 殿 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;"> ② 申請者 住 所 氏 名 電 話 () </div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">印</div> <p style="margin-top: 20px;">火災予防条例第61条の2の規定により通報の承認を受けたいので、下記のとおり申請します。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">記</p>			
通 報 の 種 別		有人直接通報	
防 火 対 象 物	所 在 地	③	
	名 称	④ 電話 ()	
	用 途 等	⑤ 項	階数 /
* 受 付			* 備 考

備考 *印欄は記入しないこと。

(裏)

建物の進入場所	⑥ 側 階・目 標			
自動火災報知設備の受信機の設置状況	設置階	⑦ 階 側		
	設置場所	⑧ 室 内		
非火災報防止対策の状況		<input type="checkbox"/> 蓄積式の受信機又は中継器 <input type="checkbox"/> 二信号式の受信機 <input type="checkbox"/> 蓄積付加装置 <input type="checkbox"/> 感知器の適材適所		
火災通報装置	品 名	⑨	型 式	⑩
	製造会社	⑪	認定番号	⑫
火災通報装置 の試験実施者	会 社 名			
	所 在 地	⑬	電 話	()
	氏 名	⑭		印
	資 格	⑮	種 類	交付番号 年 月 日
	試験結果	⑯	適	・ 否
⑰ 通 報 順 位	第一順位	東 京 消 防 庁		
	第二順位	住所	氏名	電 話 ()
	第三順位	住所	氏名	電 話 ()
	第四順位	住所	氏名	電 話 ()

備考1 建物の進入場所の欄は、消防隊が進入するのに適した入口を記入すること。
ただし、大規模な建物等で進入場所が明確に記入できない場合は、図面を添付すること。

2 非火災報防止対策の状況欄には、該当する項目の□にレ印を付すこと。

3 通報順位の欄は、情報提供できる防火対象物の関係者を順次記載すること。

記入要領

- ① 申請の年月日を記入します。
- ② 申請者の氏名欄が法人となる場合は、名称及び代表者氏名を記入します。
なお、電話については、代表電話を記入します。
- ③ 防火対象物の所在地を記入します。
- ④ 防火対象物の正式名称及び電話については、自動火災報知設備の受信機の設置場所に最も近接している箇所の電話番号（又は使用回線の電話番号）を記入します。
- ⑤ 用途等が複数となる場合は、代表棟の用途・階数・構造を記入します。

・裏面

- ⑥ 建物の進入場所は、東西等の方向及び何階部分並びに進入場所等を記入します。
- ⑦ 設置階は、自動火災報知設備の受信機が設置されている階及び東西等の方向を記入します。
- ⑧ 設置場所は、自動火災報知設備の受信機が設置されている部屋名を記入します。
- ⑨ 品名は、各メーカーが製造した火災通報装置の商品名を記入します。
- ⑩ 型式は、各メーカーの火災通報装置の機種番号を記入します。
- ⑪ 製造会社名を記入します。
- ⑫ 認定番号は、(財)日本消防設備安全センター認定品の番号を記入します。
- ⑬ 所在地は、試験実施者が実際に勤務している場所を記入します。
- ⑭ 氏名を記入し、押印する。
- ⑮ 試験実施者の資格は、記入漏れのないようにします。
- ⑯ 火災通報装置と自動火災報知設備の連動試験の結果を記入します。
- ⑰ 通報順位を決める場合は、承認申請対象物の近くに居住する関係者で、かつ、管理監督的な地位にある者から指定します。